

熊本県主催

令和6年度（2024年度）第36回 くまもと景観賞 募集



第35回 くまもと景観賞

「地域住民と野焼き支援ボランティアが守る「阿蘇の草原」



第35回 部門賞 地域景観賞

「Shinsekai 下通 GATE」



第35回 部門賞 緑と水の景観賞

「日光の棚田」



第35回 奨励賞

「ゆずの木 ねむの木 みずたまの木」

募集期間：令和6年7月11日(木)～8月23日(金)

応募はこちらから

URL → <https://logoform.jp/f/hVnSK>

二次元バーコード →



詳しくは、県のホームページをご覧ください。

くまもと景観賞

検索

過去の受賞作品はこちらからご覧になれます。

→http://kumamoto-midori.com/shokai/shokai_keikan2.html

第36回くまもと景観賞

景観は眼にうつる環境とも言われています。緑にあふれ、地域の文化や伝統を感じさせる美しい街並み景観や田園景観は訪れる人の共感を誘うとともに、そこに住む人にも我が町・ふるさとへの愛着をますます高めます。

“くまもと景観賞”は、私たちの郷土＝熊本が緑と潤いに満ちた美しい県土となるよう、良好な景観形成に大きく貢献している人々の功績を広く顕彰することを目的としています。

募集要項

1 表彰の対象

熊本県内において、次に掲げる景観形成に係る取組みで、地域の良好な景観形成に大きく貢献している個人若しくは団体を表彰します。

- ①地域の歴史、生活文化、自然などを活用した景観
- ②地域住民、企業、行政それぞれの参加と協力で創出された景観
- ③地域に潤いと安らぎを与える景観
- ④地域に新たな魅力をもたらす景観
- ⑤その他優れた景観形成に寄与しているもの

※応募内容が関係法令等に違反しているもの、その他表彰にふさわしくない事項等と認められるものについては、選考対象外とします。また、表彰決定後に表彰にふさわしくない事項等があったことが判明したときは当該決定を取り消す場合があります。

2 応募資格

自薦、他薦は問いません。（他薦の場合、被推薦者の承認を得たうえで応募してください。）

3 応募方法

「電子申請システム（L o G o フォーム）」で必要事項を入力し、画像データ添付のうえ、お申し込みください。

※電子申請が困難な場合は書類でも受け付けていますので、詳細については熊本県都市計画課までお問い合わせください。

なお、応募いただいた書類の返却は行いませんので、あらかじめご了承ください。



スマートフォンは
こちらから↑

4 募集期間

令和6年（2024年）7月11日（木）～8月23日（金）

5 選考方法

くまもと景観賞審査委員会を設け審査します。

- 一次審査 書類審査
- 二次審査 現地審査

■審査委員長

星野 裕司 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

■審査委員

太田 リカ 空間デザイナー・グラフィックデザイナー

丸山 幸 株式会社 大揮環境計画事務所 代表取締役

金子 好雄 熊本県文化懇話会会員、NPO法人白川流域リバーネットワーク 代表理事

磯田 淳 株式会社くまもとDMC 代表取締役社長

吉武 隆一 熊本大学先端科学研究部土木建築部門人間環境計画分野 准教授

6 発表・表彰

表彰式は、令和7年（2025年）2月頃を予定しております。

※応募された方には、12月末までに結果を通知いたします。

—第35回くまもと景観賞受賞作品—



くまもと景観賞

「地域住民と野焼き支援ボランティアが守る 「阿蘇の草原」

元来地域住民の生活と生業に不可分なものとして野焼きは毎年継続して行われ、阿蘇の草原は維持されてきた。現在、地域住民と県内外の多くの支援ボランティアにより草原は維持され、草原の生物多様性保全と文化継承されていることを忘れてはならない。

部門賞 地域景観賞 「Shinsekai 下通 GATE」

熊本パルコが生まれ変わった下通り GATE には、豊かに自由に過ごせるテラスがある。熊本を代表するお城と通町筋の景観を新たな視点から体験させてくれ、熊本の街に新たな質を提供する。



部門賞 地域景観賞 「八代市庁舎」

かつての八代城内に位置することから素材や色調など周辺を意識した景観であり、建物内外問わず、居心地良い光と風を感じることのできる空間である。また、「まちに開かれた庁舎」として市民を迎え入れることにも成功している。

部門賞 地域景観賞

「青蓮寺阿弥陀堂及び青蓮寺古塔碑群」

地道な調査によって、青蓮寺の檀上基壇が鎌倉時代後期に遡ることを明らかにし、五輪塔、阿弥陀三尊像、阿弥陀堂等を多良木相良氏が造営した廟所に関連する一連の歴史的景観として把握できることを示した。





部門賞 緑と水の景観賞 「日光の棚田」

標高 420m、広さ約 2.0ha、穏やかな日に照らされた小さな棚田。「六方積み」と呼ばれる技法により構築・維持されてきた石積みは、自然と人間が長い時間をかけて協働してきた成果を美しく私たちへ伝えてくれている。

部門賞 緑と水の景観賞 「産山村の扇棚田」

棚田百選、重要文化的景観にも選定されている扇棚田は、豊かな自然と人々の暮らし、歴史の中で形成された優れた農村景観である。先人の英知と努力、それを引き継ぐ住民の心意気で維持されている景観が、地域の貴重な財産として愛され、後世に守り継がれていくことを願っている。



奨励賞 「ゆずの木 ねむの木 みずたまの木」

山都町の山奥、阿蘇五岳の絶景が望めるカフェである。敷地のクヌギ林はほぼそのままとし、木造の柱・梁が見える透明なボックスで、林に溶け込んでいる。屋外にもテラス席をつくる。景観づくりの試みとして好ましい。

奨励賞 「流水型ダムが彩る 立野峡谷」

ダムという巨大な人造構造物と阿蘇山と白川が創造した自然物とが調和した峡谷景観をつくらうとした意図と、細部にまでこだわったデザイン、自然に近い溪流を再現しようとした工夫、ダム完成後も間近でジオサイトと豊かな自然を楽しめる点を評価したい。



くまもと景観賞は、グランプリである「くまもと景観賞」をはじめ、次の賞を設けています。審査にあたっては、個々の景観だけでなく、地域景観づくりの活動も評価します。

■くまもと景観賞

県土の景観形成に顕著な功績のあるものに贈られます。

■部門賞

【地域景観賞】

地域の景観形成に功績のあるものに贈られます。

（個々の建築物、向こう三軒両隣といった小さな単位から、まちづくり等の大きな単位まで優れた景観形成や地域づくりに寄与しているもの。）

【緑と水の景観賞】

緑と水の景観形成に功績のあるものに贈られます。

（住民・企業・行政の協働による緑化活動、私有地の公共空間化により創出された、ゆとりある景観等で、継続的な維持管理によって良好に保たれているもの。）

【広告景観賞】

広告景観の向上に功績のあるもの（広告・サイン・案内板等）に贈られます。

（広告単体の造形美や、統一的なデザインの看板の設置等によって、優れた景観形成に寄与しているもの。）

■奨励賞

景観の形成や向上に貢献しているものに贈られます。

■特別賞

過去の受賞作品を含めて、長年にわたり良好な景観の維持・向上が図られ、県土の景観形成に特に顕著な功績があるものなど、審査委員の推薦で、特別賞を贈る場合があります。

【主催】 熊本県

【後援】（公社）熊本県建築士会、（一社）熊本県建設業協会、（一社）熊本県建築士事務所協会、（公社）熊本県緑化推進委員会、（一社）熊本県造園建設業協会、熊本県樹芸農業協同組合、熊本県花き園芸農業協同組合、熊本県広告美術協同組合、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、くまもと緑・景観協働機構

問い合わせ先

熊本県土木部道路都市局 都市計画課景観管理班
〒862-8570 熊本市中央区水前寺六丁目 18-1
TEL：096-333-2522 FAX：096-387-1152

